



誰もがスポーツを
楽しむことができる
笑顔でつながる
まちをめざして

第2次宇部市スポーツ推進計画

令和4年(2022年)3月
宇部市

新型コロナウイルス感染拡大の影響により私たちの生活が一変した中で、令和3年7月には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、令和4年2月には北京で冬季大会が開催されました。

オリンピック・パラリンピック競技大会は、人々を惹きつけ、感動と希望を与えるとともに、大会を通していつまでも記憶に残るシーンがいくつも生まれました。



このように、スポーツは、私たちの生活に活力と潤い、そして生きがいを与えてくれます。また、目的をもってスポーツに取り組むことで、健康や体力の保持増進や精神的な充足感の獲得、自律心等の精神の涵養など、得られるものも様々です。

これまで本市では、平成23年に「宇部市スポーツ振興計画」を策定し、スポーツによる人づくり・まちづくりを推進してきましたが、「第五次宇部市総合計画」の策定に合わせて、このたび「第2次宇部市スポーツ推進計画」を策定したところです。

本計画では、これまでの本市の取組状況や現在の社会情勢の変化を踏まえ、市民の誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくりをさらに進めるとともに、スポーツにより笑顔でつながるまちに向けて、新たにプロ・トップスポーツチームとの連携によるまちづくりに取り組みます。

また、市民や関係団体等と共に創り上げる「共創」の理念のもとに、具体的な取組を構築し、市民一人ひとりがスポーツのもつ力や価値を享受し、活力ある地域づくりとなるよう

「誰もがスポーツを楽しむことができる 笑顔でつながるまち・宇部」

を基本理念として各施策を展開していきます。

結びに、本計画の策定にあたり、「第2次宇部市スポーツ推進計画策定委員会」の皆様をはじめ、アンケート調査やパブリックコメント等によりご意見を寄せていただきました市民の皆様、ご協力いただきました関係者の皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。

令和4年（2022年）3月

宇部市長 **篠崎 圭二**

もくじ

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画期間	2
4 計画における『スポーツ』とは	2
第2章 市民のスポーツを取り巻く現状と課題	3
1 現状	3
(1) 国の動向	3
(2) 山口県の動向	3
(3) 本市の人口	4
(4) 小中学生の体力・運動能力の現状	5
(5) 公共スポーツ施設の利用状況	6
2 本市のスポーツ推進の状況（「宇部市スポーツ推進計画 後期計画」の検証）	7
3 市民アンケート調査	11
(1) スポーツに対する意識	11
(2) スポーツ施策に対する満足度・重要度について	17
4 課題の整理	18
第3章 計画の基本的な考え方	19
1 基本理念	19
2 基本目標	19
3 基本方針と施策体系	20
第4章 具体的施策の展開	21
基本方針1 誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくり	21
▶▶ 施策1 生涯にわたるスポーツ機会の提供（する・みる・ささえるスポーツの推進）	21
▶▶ 施策2 スポーツに親しむ環境の整備・充実	23
基本方針2 スポーツにより笑顔でつながるまちづくり	25
▶▶ 施策3 スポーツを通じた交流・ふれあいの促進	25
▶▶ 施策4 魅力あるスポーツ事業の創出	27
第5章 計画の推進体制	29



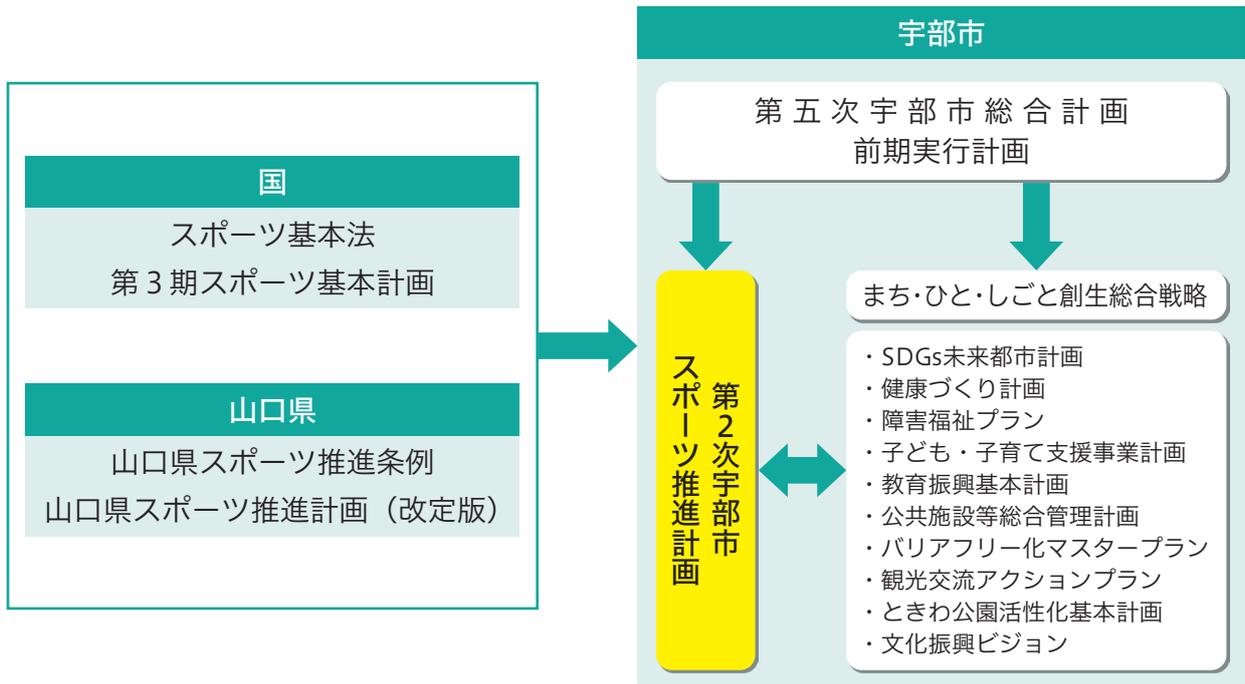
1) 計画策定の趣旨

本市では、平成23年（2011年）に「宇部市スポーツ振興計画」（計画期間：平成23年度（2011年度）～令和3年度（2021年度））を策定し、「スポーツを楽しむ元気なひとの元気なまち・宇部市」を基本理念にスポーツによるまちづくりに取り組んできました。

前計画の計画期間が終了することから、これまでの取組を踏まえ、現在の社会を取り巻く状況に対応した、計画期間を令和4年度（2022年度）から5年間とする「第2次宇部市スポーツ推進計画」を策定します。

2) 計画の位置づけ

本計画は、「スポーツ基本法第10条第1項」に基づく地方スポーツ推進計画として位置づけられるものであり、国及び山口県が策定する計画の内容を参酌し、第五次宇部市総合計画（以下「総合計画」という。）やその他計画と整合性を取り、本市の実情を踏まえたスポーツ振興の理念や方向性、取組内容について示します。



3) 計画期間

計画期間は、令和4年度（2022年度）から令和8年度（2026年度）までの5年間とします。
なお、本計画に掲げた施策や取組については、毎年度検証を行うとともに、その他の計画の進捗状況や社会経済情勢等の変化も勘案し、必要に応じて見直しを行うこととします。

計 画 名		H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
国	第3期スポーツ基本計画					→					
県	山口県スポーツ推進計画（改定版）	→									
市	第五次宇部市総合計画前期実行計画					→					
	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略			→							
	第2次スポーツ推進計画					→					

4) 計画における『スポーツ』とは

本計画における『スポーツ』は、サッカーや陸上競技等のルールに基づいて勝敗や記録を競う競技スポーツだけでなく、楽しむためのスポーツやウォーキング・散歩、ストレッチ等の健康維持のために身体を動かす生涯スポーツも広く含むものであり、本計画においてはそれらを総称して『スポーツ』として推進していきます。

また、『e-スポーツ』については、各種競技のルールや戦術なども学べ、スポーツを始めるきっかけ作りにも寄与するものですが、現時点では本計画で推進する『スポーツ』には含めないこととします。





1) 現状

1 国の動向

ア スポーツ庁の創設

スポーツ基本法の趣旨・理念を踏まえ、スポーツを通じ、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことのできる「スポーツ立国」の実現を目指し、青少年の健全育成、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、国際貢献など、スポーツが国民生活において多面にわたる役割を果たすことができるよう、スポーツ行政を総合的・一体的に進めるため、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）等の開催決定を契機に平成27年（2015年）10月にスポーツ庁が発足しました。

イ 第3期スポーツ基本計画の策定

計画期間が令和4年（2022年）3月に終了する「第2期スポーツ基本計画」の期間中には、新型コロナウイルス感染症が急速に拡大したためスポーツ活動の自粛を余儀なくされ、心身の健康保持への悪影響やスポーツを核とした地域における交流の不足、企業収益の低下などがありました。

また、東京2020大会の開催では、正式競技として初めて採用されたアーバンスポーツをはじめとした競技・種目やパラリンピックの競技・種目など、多種多様なスポーツについて新鮮さと高い関心を持って受け入れられるとともに、仲間同士で励まし合う姿や対戦相手が、お互いのプレーをたたえあう姿といった光景から、スポーツの価値の重要性を改めて確認することができたところです。

そのため、これらを踏まえたうえで、新たな視点を加えた「第3期スポーツ基本計画」を策定することとしています。

2 山口県の動向

ア 観光スポーツ文化部の創設

山口県では、東京2020大会をはじめとした世界大会等の開催を契機とした交流の促進や、サイクル県やまぐちProjectの推進による新たな魅力の創出、本県を拠点に活躍するトップスポーツクラブと連携した取組の促進など、県内のスポーツ振興に加えて、交流人口の拡大や地域活性化に向けたさまざまな施策を展開するため、平成28年（2016年）4月に「観光スポーツ文化部」を創設しています。

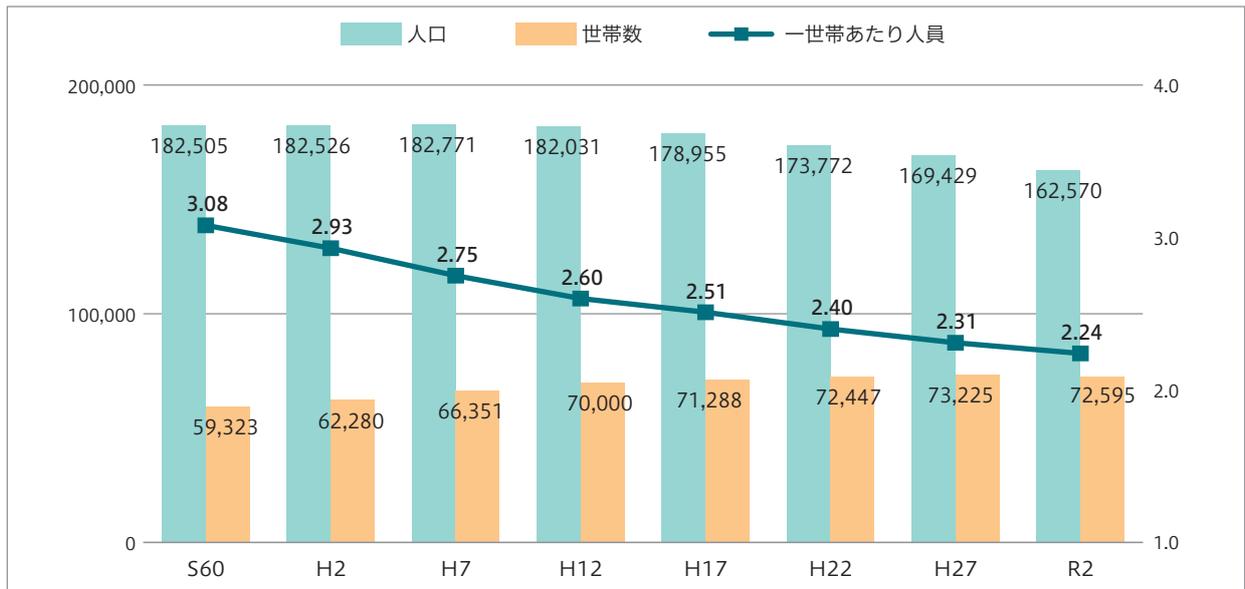
イ 山口県スポーツ推進計画

国の動向や世界大会等の開催を契機としたスポーツへの関心の高まりなど、スポーツを取り巻く環境の変化を好機と捉え、スポーツの振興に加えて、スポーツのもつ多様な力を活用した観光・交流施策を一体的に推進する「山口県スポーツ推進計画」を平成30年（2018年）11月に改定しました。

3 本市の人口

ア 人口及び世帯の推移

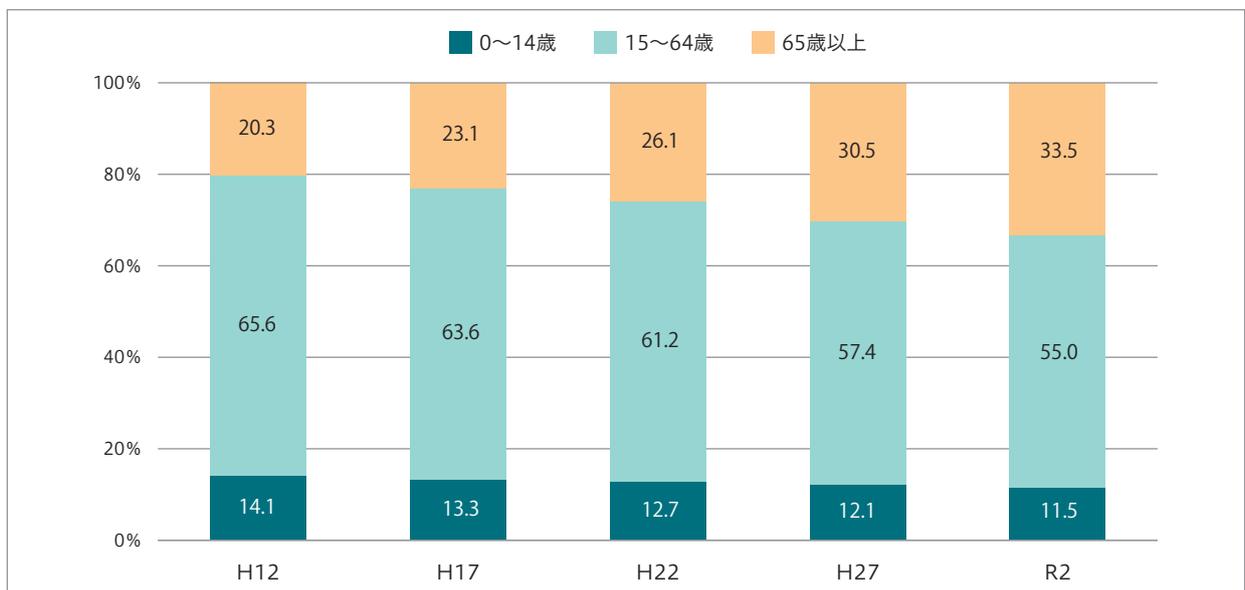
本市の世帯数は、10年前の平成22年（2010年）72,447世帯と比較すると、令和2年（2020年）は約0.2%の増加である72,595世帯であり、ほぼ変動はありません。一方で、人口は、10年前の平成22年（2010年）173,772人と比較すると、令和2年（2020年）は約6.4%の減少である162,570人となっており、この先も減少することが予測されます。



(国勢調査より)

イ 年齢別人口割合の推移

年齢別人口割合の推移をみると、0～14歳人口、15～64歳人口の割合が減少傾向にある一方で、65歳以上人口は増加し続けています。高齢化率は33.5%とおよそ3人に1人が高齢者となってきているため、高齢者の心身機能の維持・向上や健康的に生活できる「健康寿命」の延伸のための運動習慣の定着など、スポーツの機会の充実がより重要となってきています。



(国勢調査より)

4 小中学生の体力・運動能力の現状

市内の各小中学生の体力・運動能力の状況は、全国平均を100とした指数で山口県平均と比較すると、小学校5年生においては、男女ともに体力合計点で全国及び山口県を下回る状況となっています。また、中学校2年生においては、反復横跳びや立ち幅跳びなどで全国及び山口県を上回る部分もありますが、体力合計点では全国を下回る状況となっています。

【小学校5年生の運動能力の状況】

(全国平均を100とした時の指数 (▼：山口県平均以下))

種目	男子		女子	
	本市	山口県平均	本市	山口県平均
握力	▼95.1	96.4	▼95.9	96.0
上体おこし	▼96.8	97.3	▼96.8	97.7
長座体前屈	▼92.6	95.7	▼91.9	95.4
反復横跳び	▼96.4	98.9	▼95.3	99.2
シャトルラン	▼99.8	102.3	▼101.1	103.6
50m走	▼98.0	98.7	▼97.0	98.3
立ち幅跳び	▼96.7	98.4	▼93.0	98.2
ソフトボール投げ	▼96.6	99.1	▼95.9	98.3
体力合計点	▼94.3	97.3	▼92.9	97.4

資料：宇部市教育委員会 令和3年度全国体力・運動能力調査

【中学校2年生の運動能力の状況】

(全国平均を100とした時の指数 (▼：山口県平均以下))

種目	男子		女子	
	本市	山口県平均	本市	山口県平均
握力	98.9	96.8	99.7	97.4
上体おこし	99.1	98.4	99.7	99.2
長座体前屈	▼95.9	96.7	▼94.9	96.7
反復横跳び	103.4	102.1	103.7	101.3
持久走	▼98.7	101.4	▼98.4	101.4
シャトルラン	▼100.9	103.3	▼102.4	103.4
50m走	100.2	100.1	▼100.1	100.7
立ち幅跳び	98.6	97.9	99.8	98.6
ソフトボール投げ	▼97.0	98.0	▼96.9	98.3
体力合計点	99.1	98.9	99.4	99.4

資料：宇部市教育委員会 令和3年度全国体力・運動能力調査

5 公共スポーツ施設の利用状況

市内のスポーツ施設の利用状況は、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用停止もあり、令和2年度（2020年度）の利用者数は、平成28年度（2016年度）の526,424人と比較すると162,565人減少の363,859人（▲30.9%）となっています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない令和元年度（2019年度）までの利用者数の推移を見ても、年々減少している状況となっています。

【施設分類別・年度別利用者数】

（単位：人）

施設名	H28	H29	H30	R元	R2
体育館	137,202	115,820	73,523	71,928	71,509
多目的グラウンド	100,876	116,487	116,552	114,173	74,498
テニスコート	117,785	117,209	113,398	113,035	93,045
野球場	86,775	82,652	84,668	79,191	48,725
陸上競技場	14,166	12,578	10,182	11,112	7,990
弓道場	12,919	12,213	11,784	8,992	5,724
アーチェリー場	1,113	973	1,428	1,427	1,447
サッカー場	23,435	21,662	50,008	52,657	42,606
武道館	32,153	30,042	32,746	29,789	18,315
合計	526,424	509,636	494,289	482,304	363,859
対前年比		▲16,788	▲15,347	▲11,985	▲118,445
（対前年割合：%）		（▲3.2%）	（▲3.0%）	（▲2.4%）	（▲24.6%）



公共スポーツ施設「俵田翁記念体育館」



公共スポーツ施設「ユービーアールスタジアム」



公共スポーツ施設「常盤公園サッカー場」

2) 本市のスポーツ推進の状況（「宇部市スポーツ推進計画 後期計画」の検証）

本市では、平成30年（2018年）4月に改定した「宇部市スポーツ推進計画 後期計画」において、スポーツ推進における基本理念や基本目標を定め、『基本方針1 スポーツを楽しむ「元気なひと」づくり』と『基本方針2 スポーツによる「元気なまち」づくり』の2つの基本方針のもと、各施策を展開しており、その取組状況は次のとおりです。

● 基本目標における目標指標「週1回以上スポーツを行う成人の割合」

基本目標では、「週1回以上スポーツを行う成人の割合を80%以上（2021年度）」を目標指標としており、本割合は令和2年度（2020年度）には86.4%と目標値の80%以上を超えている状況ですが、令和3年度（2021年度）では67.5%と目標指標を下回る状況となっています。

《達成度》

目標指標	平成29年度 (2017年度) [現状値]	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度) [目標値]
週1回以上スポーツを行う成人の割合(%)	[74.6]	77.5	78.6	86.4	67.5 [80]

基本方針1 スポーツを楽しむ「元気なひと」づくり

施策1 生涯にわたるスポーツ機会の提供（する・観る・支えるスポーツ推進）

「チャレンジデー参加者数」や「1年以内にスポーツの試合等を直接観戦した人の割合」、「宇部市スポーツコミッション人財バンク登録人数」など7つの活動指標を設定し、する・観る・支えるスポーツを推進しています。

「する」スポーツの推進の活動指標である「チャレンジデー参加者数」では、令和元年度（2019年度）に114,694人と平成29年度（2017年度）の76,605人を大きく上回り、かつ、目標値である100,000人を超える人数となりました。また、「観る」スポーツの推進の活動指標である「1年以内にスポーツの試合等を直接観戦した人の割合」では、令和元年度（2019年度）の35.9%が最も多い割合となっていますが、目標値である50%を下回る状況となっています。「支える」スポーツの推進の活動指標である「宇部市スポーツコミッション人財バンク登録人数」は、令和2年度（2020年度）は32人であり、平成29年度（2017年度）の17人から15人の増加となっており、令和3年度（2021年度）の目標値である30人を超える人数となっています。

《達成度》

主な活動指標	平成29年度 (2017年度) [現状値]	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度) [目標値]
チャレンジデー参加者数(人)	[76,605]	91,520	114,694	中止	39,373 [100,000]
1年以内にスポーツの試合等を直接観戦した人の割合(%)	[—]	33.3	35.9	24.7	[50]
宇部市スポーツコミッション人財バンク登録人数(人)	[17]	26	30	32	[30]



施策1の主な活動指標の達成度から、今後、「観る」スポーツの推進を重点的に取り組む必要性があると考えられます。

施策2 スポーツに親しむ環境の整備・充実

「公共体育施設利用者満足度」や「学校体育施設開放の利用人数」など4つの活動指標を設定し、公共スポーツ施設のバリアフリー化を含めた整備・充実や指定管理者の管理運営におけるサービスの向上及び身近なスポーツ環境の整備により、スポーツ実施率の向上を図っています。

公共スポーツ施設の整備・充実の活動指標である「公共体育施設利用者満足度」では、平成30年度（2018年度）から令和2年度（2020年度）までの3年間全ての年において90%を超えており、平成29年度（2017年度）の76.4%と目標値である令和3年度（2021年度）の80%を共に上回る満足度となっています。また、身近なスポーツ環境の整備の活動指標である「学校体育施設開放の利用人数」は令和3年度（2021年度）に328,592人となっており、平成29年度（2017年度）の466,564人と、目標値である500,000人とともに下回っています。

《達成度》

主な活動指標	平成29年度 (2017年度) [現状値]	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度) [目標値]
公共体育施設利用者満足度 (%)	[76.4]	100	98.5	90.8	[80.0]
学校体育施設開放の利用人数 (人)	[466,564]	480,921	479,494	446,574	328,592 [500,000]

施策2の主な活動指標の達成度から、今後、学校体育施設の利用を促進する取組の必要性があると考えられます。

施策3 スポーツに関する意識の向上

「宇部市スポーツコミッションホームページ閲覧数」や「身体を動かすことが好きな人の割合」など5つの活動指標を設定し、スポーツの魅力発信や東京2020大会を契機として、オリンピック・パラリンピアンとの交流などにより、市民のスポーツへの興味・関心を高め、スポーツ実施率の向上を図っています。

スポーツ情報の充実の活動指標である「宇部市スポーツコミッションホームページ閲覧数」では、令和2年度（2020年度）では32,988件と平成29年度（2017年度）の2倍以上であり、目標値の20,000件を超える閲覧数となっています。また、東京2020大会等世界大会を契機とした意識の向上の活動指標である「東京オリンピック・パラリンピックに関する認証プログラム数」は、平成29年度（2017年度）の18件から令和2年度（2020年度）には累計で54件と3年間で36件増えたものの、令和3年度（2021年度）の目標値である100件には届いていない状況となっています。

《達成度》

主な活動指標	平成29年度 (2017年度) [現状値]	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度) [目標値]
宇部市スポーツコミッションホームページ閲覧数(件)	[15,034]	20,400	34,873	32,988	[20,000]
東京オリンピック・パラリンピックに関する認証プログラム数(累計)	[18]	29	47	54	[100]

施策3の主な活動指標の達成度から、スポーツに関する意識の向上を図るきっかけとなる取組の必要性があると考えられます。

基本方針2 スポーツによる「元気なまち」づくり

施策4 スポーツを通じた交流・ふれあいの促進

「市民スポーツ大会参加者数」や「くすのきカントリーマラソン参加者数」など4つの活動指標を設定し、スポーツを通じた交流による、地域住民の一体感を形成する地域コミュニティの振興促進と地域資源を活かしたスポーツイベント等の実施により市内外の人との交流を創出しています。

スポーツによる地域づくりの推進の活動指標である「市民スポーツ大会参加者数」では、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響がまだ少ない令和元年度(2019年度)では1,453人と平成29年度(2017年度)の1,415人を上回っていますが、令和3年度(2021年度)の目標値である2,000人は下回っています。また、地域資源を活用した交流の促進の活動指標である「くすのきカントリーマラソン参加者数」は、令和2年度(2020年度)はオンライン開催となり991人となっていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響がまだ少ない令和元年度(2019年度)までは、令和3年度(2021年度)の目標値である2,000人(定員)をほぼ達成している状況です。

《達成度》

主な活動指標	平成29年度 (2017年度) [現状値]	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度) [目標値]
市民スポーツ大会参加者数(人)	[1,415]	1,354	1,453	1,113	[2,000]
くすのきカントリーマラソン参加者数(人)	[1,865]	1,931	1,930	991	[2,000]

施策4の主な活動指標の達成度から、今後、市民スポーツ大会など気軽に参加できるイベント等の必要性があると考えられます。

施策5 魅力あるスポーツ事業の創出

「サイクル県やまぐちと連動したスポーツ交流機会の創出件数」や「スポーツ・ヘルスツーリズム実施数」など4つの活動指標を設定し、魅力あるスポーツイベントや大規模な競技大会を開催することで、スポーツ参画人口の拡大と交流人口の増加に取り組んでいます。また、DMO（本市の観光に関わる各主体を包括的にマネジメントする組織）と連携し、地域資源、スポーツ、観光を掛け合わせた「スポーツツーリズム」を推進しています。

魅力あるスポーツイベントの実施の活動指標である「サイクル県やまぐちと連動したスポーツ交流機会の創出件数」は、令和2年度（2020年度）では3件であり、目標値の20件を下回っています。また、スポーツツーリズムの推進（DMOとの連携）の活動指標である「スポーツ・ヘルスツーリズム実施数」は、令和2年度（2020年度）が13件であり、目標値の15件まであと少しという状況です。

《達成度》

主な活動指標	平成29年度 (2017年度) [現状値]	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度) [目標値]
サイクル県やまぐちと連動したスポーツ交流機会の創出件数（件）	[1]	3	—	3	[20]
スポーツ・ヘルスツーリズム実施数（件）	[7]	11	13	13	[15]

施策5の主な活動指標の達成度から、今後、魅力あるスポーツイベントやスポーツツーリズムの創出の必要性があると考えられます。

3) 市民アンケート調査

実施期間：令和3年（2021年）5月11日（火）から6月2日（水）まで

対 象：18歳以上の市民の中から無作為に3,000人を抽出

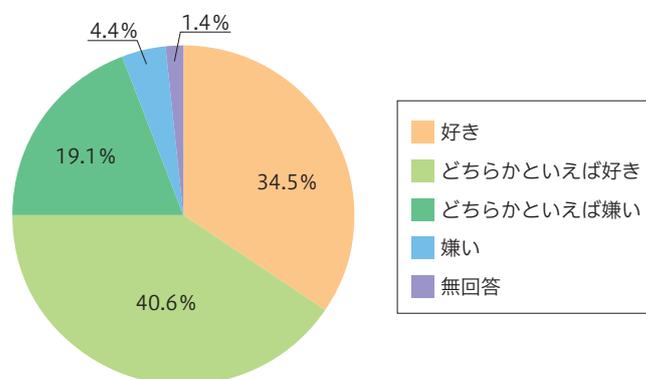
回答者数：1,025人（回収率34.2%）

1 スポーツに対する意識

問1 身体を動かすことは好きですか。

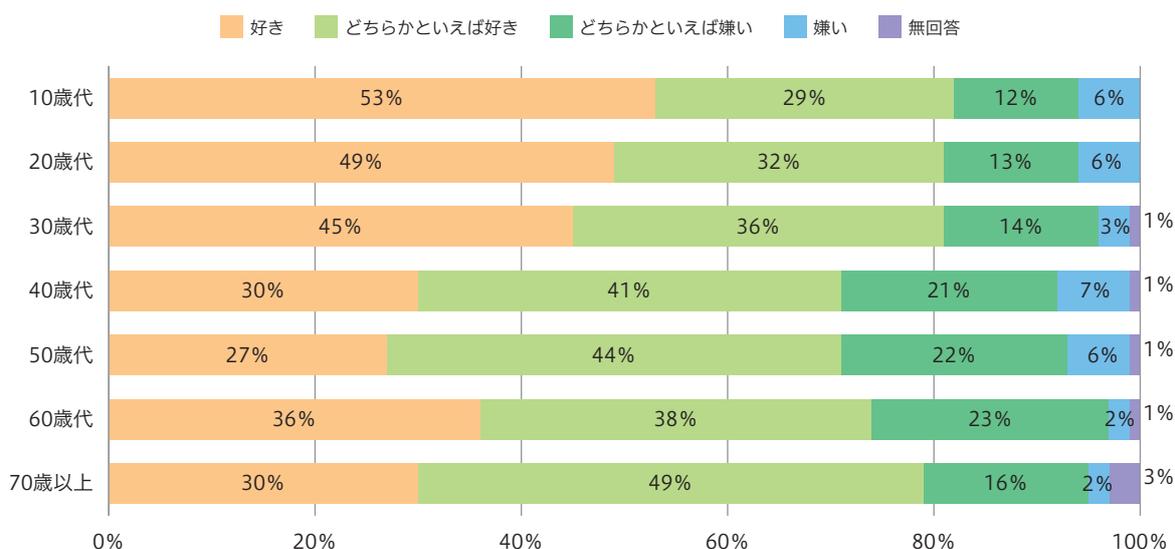
平成29年度（2017年度）に実施したアンケートでは、身体を動かすことについて「好き」と「どちらかといえば好き」を選択した人が全体の82.5%だったのに対して、75.1%と7.4ポイント減少しています。

グラフ1-1 身体を動かすことの意識



また、年代別では、40歳代と50歳代で「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」を選択した人が約30%あり、他の年代と比較すると高い状況となっています。

グラフ1-2 身体を動かすことの意識（年代別）

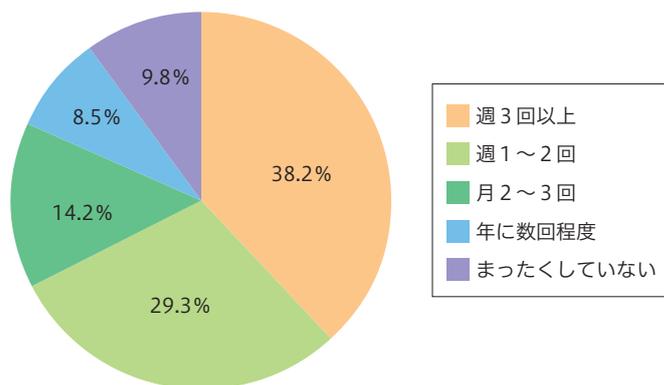


スポーツに対する意識を高めるため、東京2020大会のレガシーの継続・発展を目的とした取組が必要です。

問2 日ごろ、どのくらいの頻度で、身体を動かしていますか。

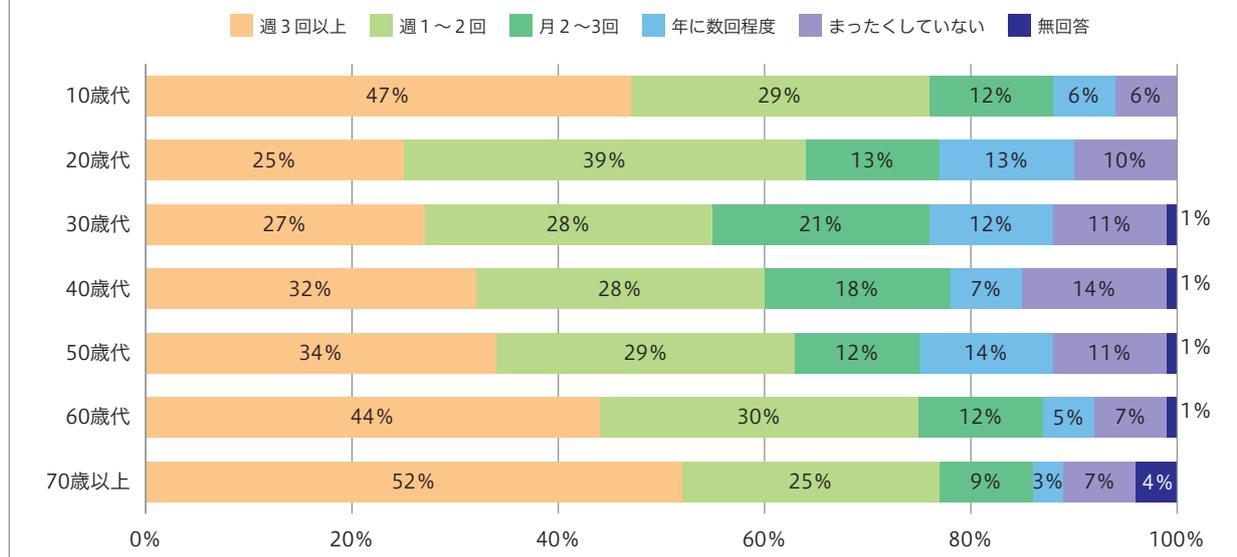
身体を動かす頻度について、基本目標である「週1回以上スポーツを行う成人の割合」は、平成29年度（2017年度）に実施したアンケートでは74.6%で、令和2年度（2020年度）には84.6%と目標である80%を超えていましたが、今回のアンケートでは67.5%に低下しています。

グラフ2-1 身体を動かす頻度



また、年代別に見てみると、「週1回以上スポーツを行う成人の割合」は20歳代から50歳代までにおいて70%を下回る結果となっています。

グラフ2-2 身体を動かす頻度（年代別）

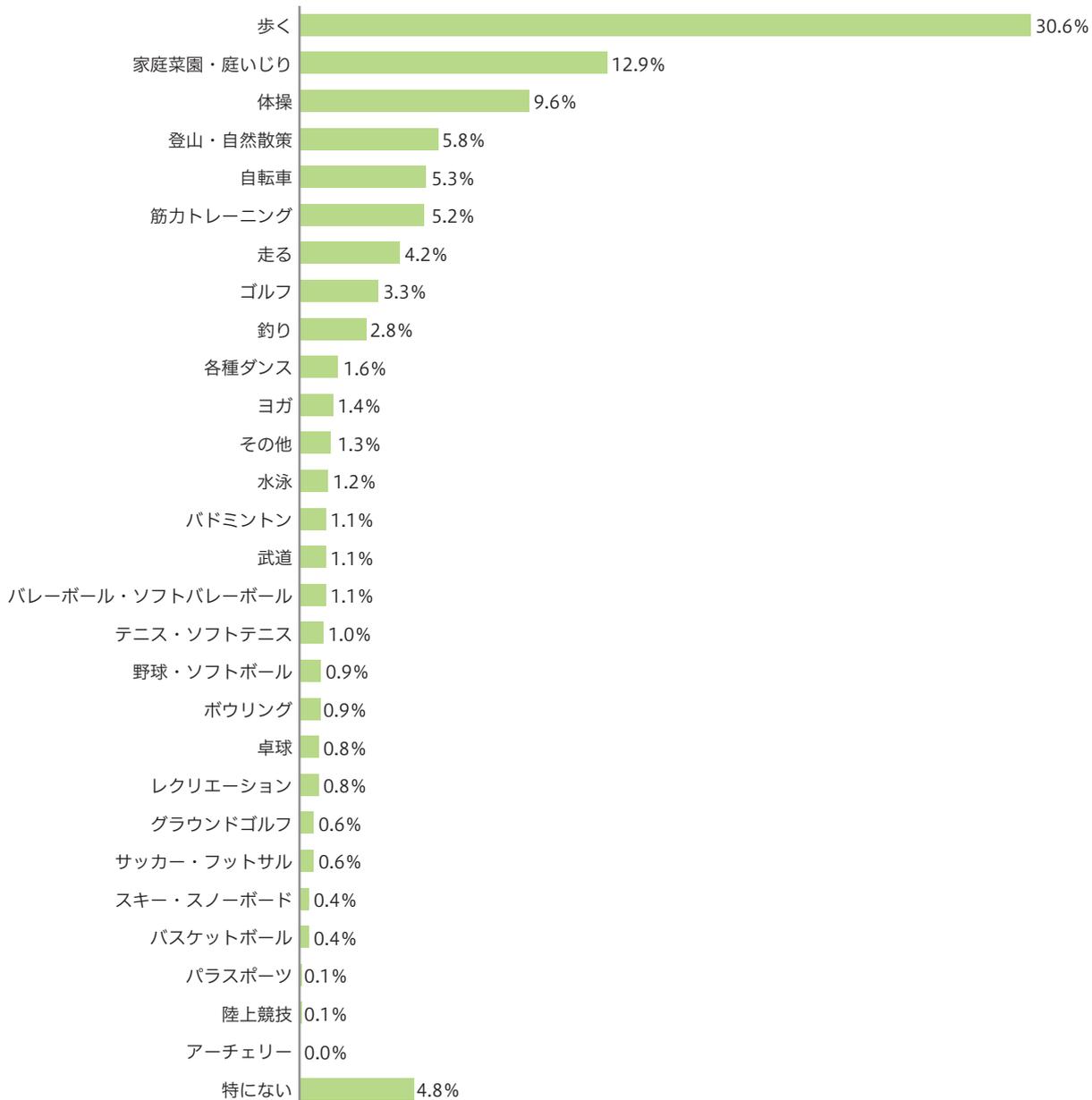


これらのことから、主に働く世代におけるスポーツ実施率を上げる取組を展開する必要があります。

問3 健康増進のためやスポーツ活動として、具体的にどのように身体を動かしていますか。

具体的な運動として最も多い回答は、「歩く」であり全体の30.6%を占めており、「家庭菜園・庭いじり」が12.9%、「体操」が9.6%と続きます。これらの回答から、家の近隣での可能な運動だけで50%を超えている状況が伺えます。

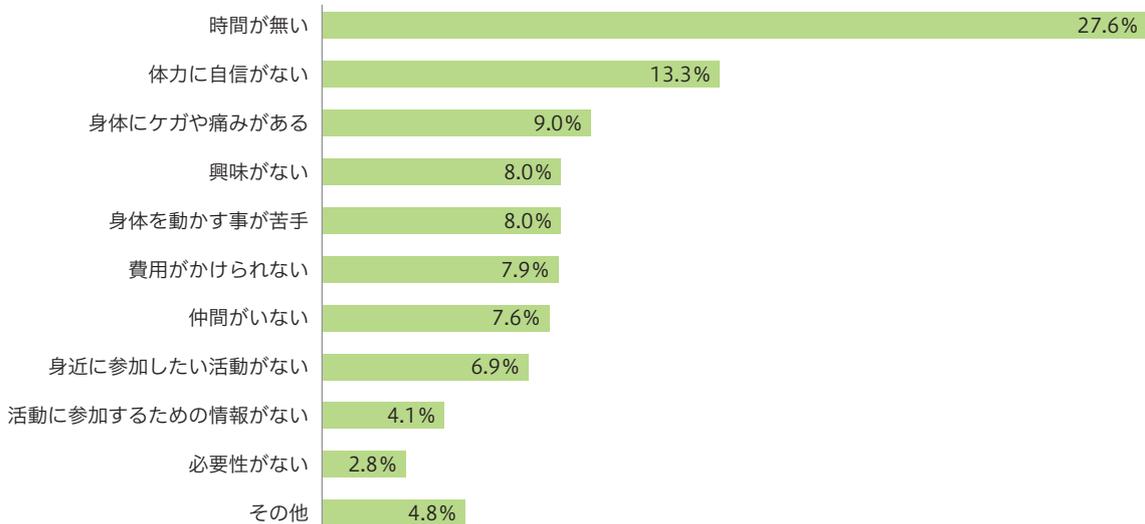
グラフ3 具体的な身体の動かし方



問4 週に1回以上、身体を動かしていない理由は何ですか。

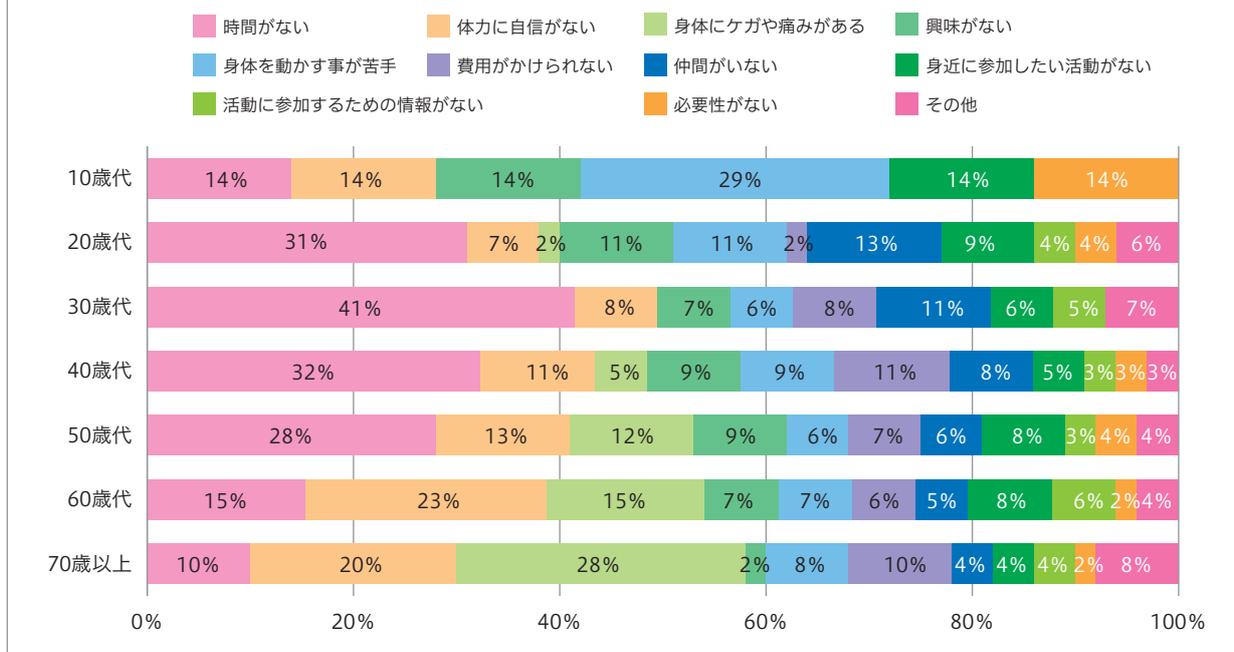
最も多い回答は、「時間がない」で全体の27.6%を占めており、「体力に自信がない」が13.3%、「身体にケガや痛みがある」が9.0%と続きます。

グラフ4-1 身体を動かしていない理由



また、年代別では、主に働く世代・子育て世代である20歳代から50歳代で「時間がない」の回答が多い状況です。

グラフ4-2 身体を動かしていない理由（年代別）

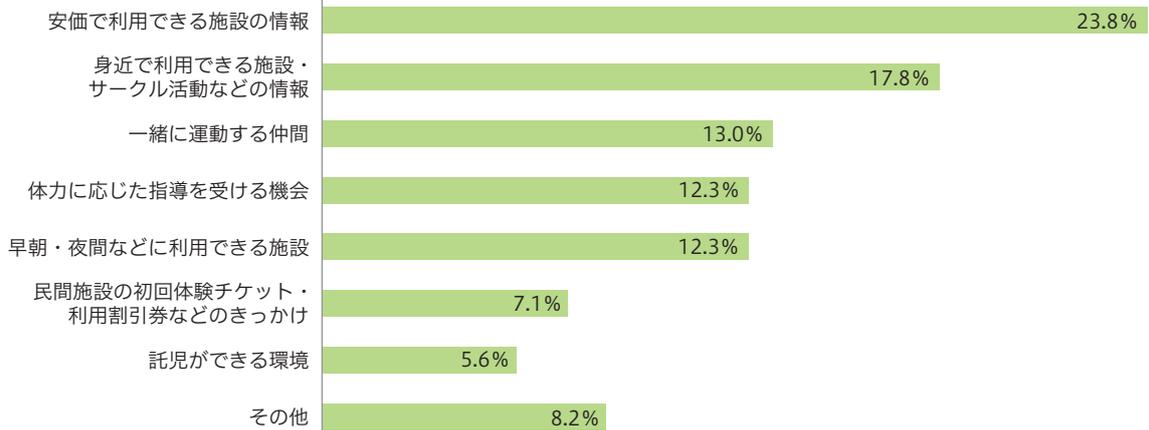


仕事帰りや家事の合間などの短い時間でも取り組むことができるスポーツの普及・促進や環境整備が必要です。

問5 週に1回以上、身体を動かすために必要と考えるものは何ですか。

最も多い回答は、「安価で利用できる施設の情報」で全体の23.8%を占めており、「身近で利用できる施設・サークル活動などの情報」が17.8%、「一緒に運動する仲間」が13.0%と続きます。

グラフ5 身体を動かすために必要なこと

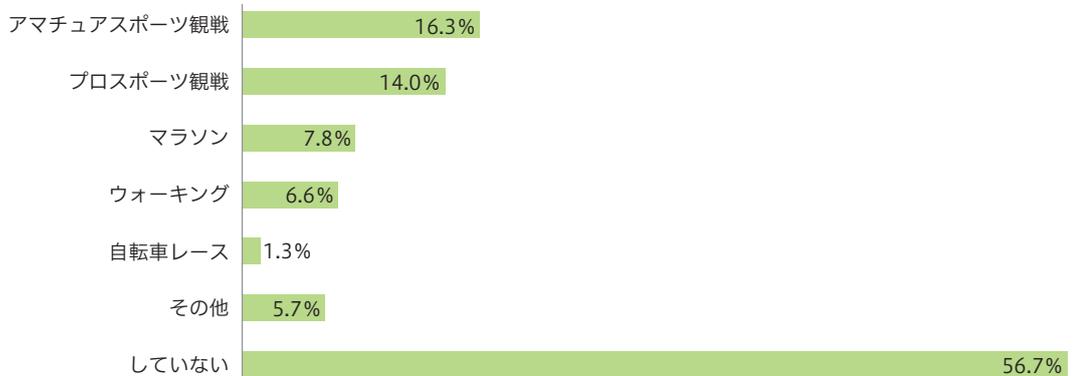


これらの回答から、スポーツ施設やサークル活動のより効果的な情報提供が必要です。

問6 直近の3年間に出場や観戦したスポーツイベントは何ですか。

観戦したスポーツイベントとして最も多い回答は、「アマチュアスポーツ観戦」で16.3%、続いて「プロスポーツ観戦」が14.0%であり、出場したスポーツイベントとして最も多い回答は、「マラソン」が7.8%、続いて「ウォーキング」が6.6%となっています。

グラフ6 出場・観戦したスポーツイベント

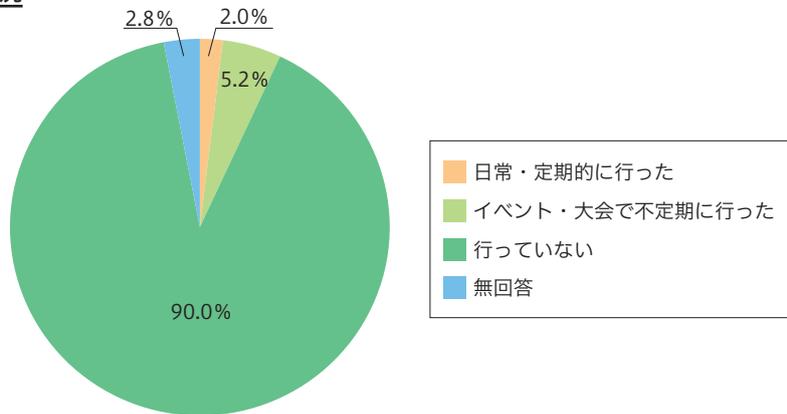


スポーツイベントに出場や観戦していない人の割合が56.7%と多いため、出場や観戦する人の割合を増やすための取組が必要です。

問7 直近の3年間に、スポーツの指導や大会運営などのボランティア活動を行いましたか。

ボランティア活動については、「行っていない」が90.0%と大部分を占めており、「日常・定期的に行った」と「イベント・大会で不定期に行った」を合わせても7.2%という状況です。

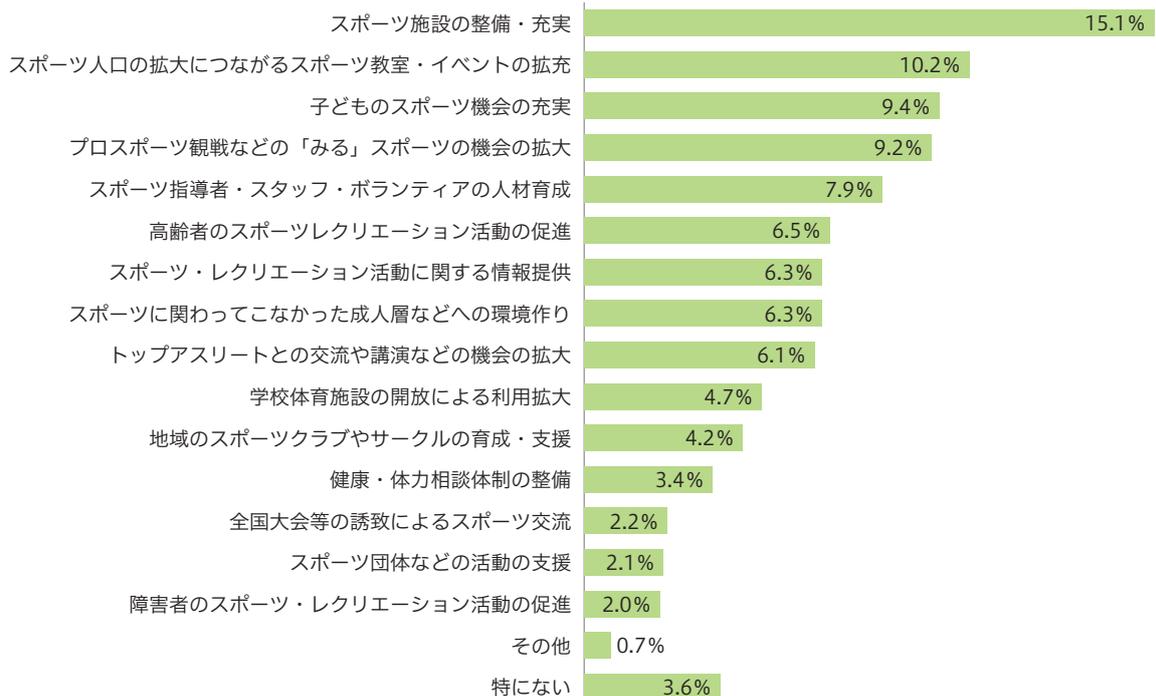
グラフ7 ボランティア活動の実施状況



問8 宇部市のスポーツ推進について、今後どのような取組に力を入れる必要があると思われますか。

最も多い回答は、「スポーツ施設の整備・充実」が15.1%で、「スポーツ人口の拡大につながるスポーツ教室・イベントの拡充」が10.2%、「子どものスポーツ機会の充実」が9.4%と続いています。

グラフ8 スポーツ推進における、今後の取組

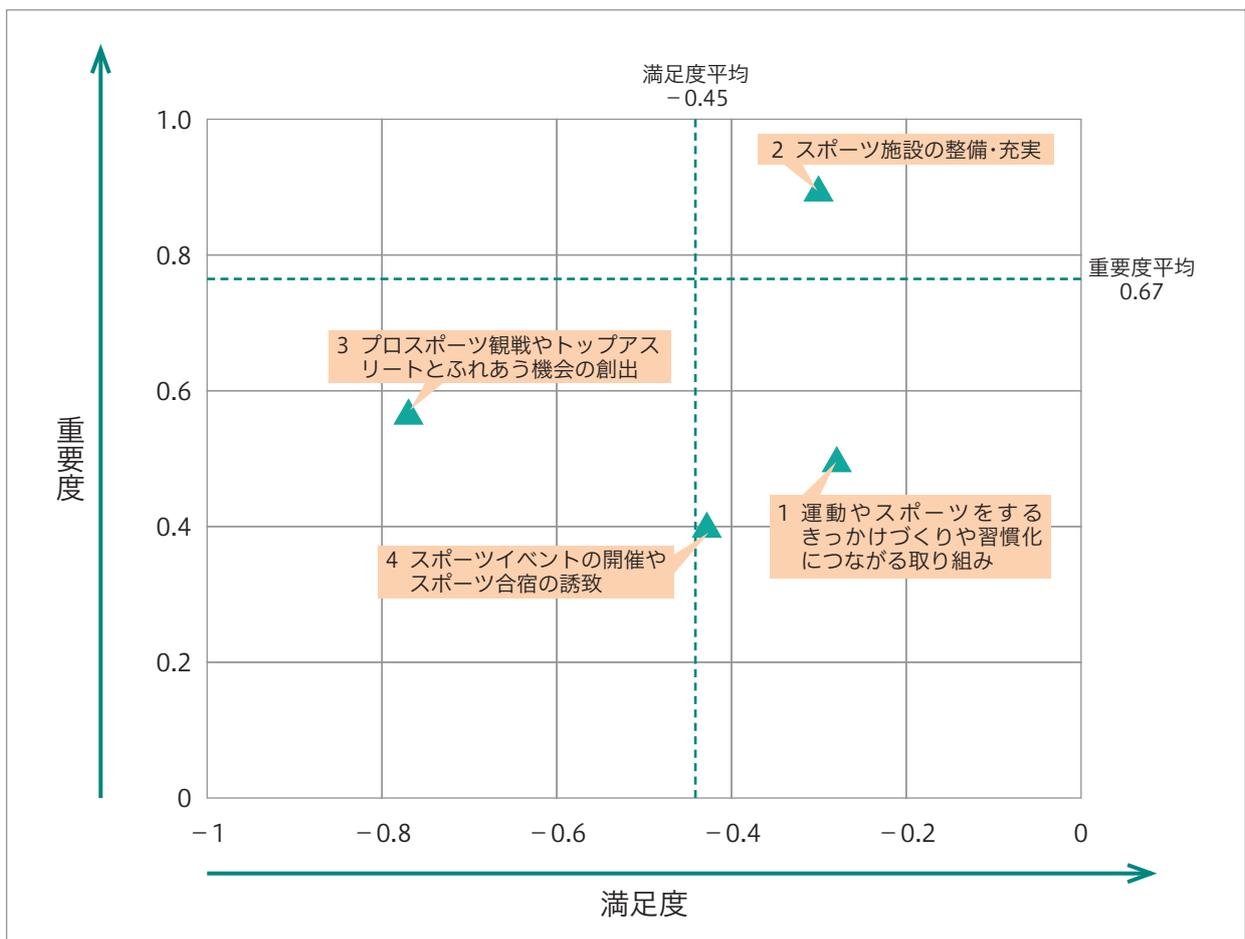


2 スポーツ施策に対する満足度・重要度について

これまで取り組んできたスポーツ施策について、満足度・重要度を調査しました。

「2 スポーツ施設の整備・充実」については、満足度・重要度ともに平均値を上回る結果となりましたが、「3 プロスポーツ観戦やトップアスリートとふれあう機会の創出」については、満足度・重要度ともに平均値を下回る結果となりました。

項目名	満足度	重要度
1 運動やスポーツをするきっかけづくりや習慣化につながる取り組み	-0.28	0.50
2 スポーツ施設の整備・充実	-0.30	0.90
3 プロスポーツ観戦やトップアスリートとふれあう機会の創出	-0.77	0.57
4 スポーツイベントの開催やスポーツ合宿の誘致	-0.43	0.40
平均	-0.45	0.67



4) 課題の整理

これまでの「宇部市スポーツ推進計画 後期計画」の取組状況による活動指標の達成度（計画の検証）や市民アンケート調査の結果等を踏まえて、スポーツ推進における本市の課題を整理しました。

1 年齢や性別、障がいの有無に関わらないスポーツ機会の充実

関連する現状・課題： **年齢別人口割合** **小中学生の体力・運動能力** **市民アンケート4・5・6・8**

- ・身近な場所で気軽にスポーツを始めることができるきっかけづくり
- ・隙間時間や子どもと過ごす時間など、特に40代～50代の働き世代において生活の中で取り組めるスポーツの推進
- ・高齢者の健康寿命の延伸や介護予防等を目的とした、スポーツ（運動）に触れる機会の更なる充実
- ・障がいのある人がスポーツを通じて社会参加することができる環境づくり
- ・スポーツ観戦やイベント・大会等の情報提供

2 スポーツを楽しめる施設・環境の充実

関連する現状・課題： **スポーツ推進の状況 施策2** **市民アンケート8**

- ・小中学校の体育施設や民間施設の利用促進
- ・公共スポーツ施設の老朽化に伴う、計画的な改修や維持・保全
- ・改修に合わせたバリアフリー化やユニバーサルデザイン化

3 スポーツ指導者などの人材確保と地域スポーツクラブの育成

関連する現状・課題： **市民アンケート5・7・8**

- ・競技力の向上や学校部活動指導員などのスポーツ指導者の人材確保及び育成
- ・地域スポーツクラブ等におけるマネージャーの人材確保及び育成
- ・スポーツボランティアの人材確保及び育成
- ・地域スポーツクラブの創出及び育成

4 政策的課題

ア 子どもたちや大人の体力向上

- ・小中学生のスポーツに対する意識改革と体力・運動能力の向上
- ・身近な場所でスポーツに取り組むことができる環境整備

イ スポーツを通じた交流促進と交流・関係人口の拡大

- ・スポーツによる地域コミュニティの再生及び創出
- ・スポーツによる交流・関係人口の拡大と市内経済の発展
- ・プロ・トップスポーツチームの認知度向上
- ・プロ・トップスポーツチームと連携・協働したまちづくり

ウ その他

- ・各個人の競技力の向上（トップアスリートの育成）
- ・東京2020大会で高まったスポーツに対する意識などのレガシーの継承と発展
- ・東京2020大会で注目を浴びたアーバンスポーツの推進
- ・誰もが認め合う社会である「共生社会」の実現



これからの本市のスポーツ推進では、「第2章4 課題の整理」から、世代等を問わずスポーツをいつでも楽しむことができ、また、市内外を問わず交流を促進し活力あるまちとする必要があると考え、本計画では、次のとおり基本理念や基本目標を定め、これらを実現する施策体系を整理し各取組を実施していきます。

1) 基本理念

**誰もがスポーツを楽しむことができる
笑顔でつながるまち・宇部市**

年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、全ての市民が、自分の体力、興味、目的に応じてスポーツに親しむことができ、また、スポーツを通して子どもたちの健全育成を図るとともに、共生社会の実現につながる活力ある地域づくりを進めることで、宇部市全体が笑顔になることを目指します。

2) 基本目標

基本目標 1

週1回以上スポーツを行う成人の割合 → 80.0%以上

※令和8年度（2026年度）までに
〔現状値：67.5% 令和3年度（2021年度）〕

基本目標 2

**「する・みる・ささえる」スポーツを通じて
交流する人の割合 → 25.0%以上**

※令和8年度（2026年度）までに
〔現状値：9.2% 令和2年度（2020年度）〕

- ・市民一人ひとりが気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ活動の推進を図ります。
- ・市民一人ひとりが生活の中にスポーツを取り込める環境の充実に努めます。

3) 基本方針と施策体系

基本理念である「誰もがスポーツを楽しむことができる 笑顔でつながるまち・宇部市」に基づき、基本目標を実現するため、2つの基本方針と4つの施策のもと、各取組を展開していきます。

基本方針1 誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくり

施策1	生涯にわたるスポーツ機会の提供 (する・みる・ささえるスポーツの推進)	(1) 「する」スポーツの推進
		(2) 「みる」スポーツの推進
		(3) 「ささえる」スポーツの推進
施策2	スポーツに親しむ環境の整備・充実	(1) 公共スポーツ施設の整備・充実
		(2) 身近なスポーツ環境の整備

基本方針2 スポーツにより笑顔でつながるまちづくり

施策3	スポーツを通じた交流・ふれあいの促進	(1) スポーツによる地域づくりの推進
		(2) 地域資源を活用した交流の促進
		(3) スポーツ情報の充実
		(4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等大規模大会によるレガシーの継承・発展
施策4	魅力あるスポーツ事業の創出	(1) スポーツを通じたシビックプライドの醸成
		(2) プロ・トップスポーツチームと連携したまちづくりの推進

また、本計画に基づき展開する各施策は、持続可能な開発目標の達成に貢献するものです。特に関連の強い開発目標は、「3. すべての人に健康と福祉を」「4. 質の高い教育をみんなに」「8. 働きがいも経済成長も」「11. 住み続けられるまちづくりを」「17. パートナーシップで目標を達成しよう」になります。



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられており、17のゴールから構成されています。





基本方針1

誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくり

年齢や性別、障がいの有無に関わらず、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができる環境を整えるため、次の2つの施策を柱とし、各取組を展開していきます。

2つの柱

施策1 生涯にわたるスポーツ機会の提供（する・みる・ささえるスポーツの推進）

施策2 スポーツに親しむ環境の整備・充実

施策1 生涯にわたるスポーツ機会の提供（する・みる・ささえるスポーツの推進）

「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進により、市民の誰もが生涯にわたりスポーツを通じて体力づくりや健康増進、社会参加などが実現できるように、スポーツを行う機会や気軽にスポーツを始めるきっかけを提供するほか、競技力の向上やアスリートの育成を支援するなど、市民のスポーツ活動を支援します。

	項目	現状値	令和2年度 (2020年度)	目標値	令和8年度 (2026年度)
活動指標	スポーツに親しむ参加型イベント参加者数		3,892人		10,000人
	小中学生体力・運動能力		全国・県平均以下		全国・県平均以上
	直接観戦する機会の創出による参加者数		40人		1,300人
	スポーツ・レクリエーション指導者育成人数		80人		120人
	スポーツボランティア登録人数		8団体 75人		10団体 100人

施策1-（1）「する」スポーツの推進

【主な取組】

- ・市民が気軽にスポーツに親しむ参加型のイベントの実施
- ・国の進める「Sport in Life」の趣旨に賛同したスポーツを行うことが生活習慣の一部となる社会の実現の推進 **《新規》**
- ・子どものスポーツ活動を推進するためのプログラムや体験教室等の実施
- ・子どもたちが楽しみながら積極的にからだを動かす運動プログラムである「ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）」の普及 **《新規》**
- ・小中学生を対象とした「全国体力テスト」で、全ての実技項目で全国レベルに到達できる取組の推進 **《拡充》**
- ・高齢者の健康づくりや健康の保持増進・体力づくり及び介護予防につなげるための運動プログラム等の推進
- ・パラスポーツやニュースポーツなどのスポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発のための障がい者スポーツ体験イベントの開催支援 **《拡充》**
- ・子育て世代と子どものスポーツ参画を促進するための親子参加型の取組の推進 **《新規》**
- ・競技力の向上と全国大会・国際競技大会等に出場する選手への支援、表彰及び周知

施策1-(2) 「みる」スポーツの推進

【主な取組】

- ・ ユーピーアールスタジアムや俵田翁記念体育館等のスポーツ施設における直接観戦を企画・支援 《**拡充**》
- ・ トップアスリートを招致したスポーツイベントの誘致 《**拡充**》
- ・ 大規模イベントやトップアスリートが参加する大会などの情報をウェブサイトやSNS、広報紙などを通じてタイムリーに提供 《**新規**》

施策1-(3) 「ささえる」スポーツの推進

【主な取組】

- ・ パラスポーツやニュースポーツを含めたスポーツ・レクリエーション指導者の確保・育成 《**拡充**》
- ・ 審判員や大会等運営スタッフ、サポーター、スポーツボランティアなどのスポーツに関わる人材の育成のための資格取得機会の充実
- ・ 部活動指導員等の指導者の確保
- ・ スポーツボランティア等の活動支援



チャレンジデー「青空ヨガ」



特別巡回ラジオ体操



ユーピーアールスタジアム「トレーニングジム」

施策2 スポーツに親しむ環境の整備・充実

公共スポーツ施設においては、人口減少や超高齢化社会の進展、人口構造や市民ニーズの変化等に対応するため、「宇部市公共施設等個別施設計画」に基づく公共施設マネジメントの方向性を基本とし、整備・改修の際には、バリアフリー化やユニバーサルデザインの視点を踏まえたものとします。また、設備の抗菌コーティングなどの実施により、新型コロナウイルスなどの感染症に対しても、安心・安全に利用できるものとします。

また、公共スポーツ施設に限らず、親子でも利用しやすい身体を動かす環境整備に努め、体力向上や健康づくりにつなげるものとします。

加えて、誰もが身近にスポーツを楽しむことができるように、小中学校の体育施設の開放や民間施設の活用を図るとともに、指導者の確保・育成と合わせた総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援や各地区の実情に応じたスポーツ関連団体との連携による環境整備を進めます。

活動指標	項目	現状値	令和2年度 (2020年度)	目標値	令和8年度 (2026年度)
		公共スポーツ施設の利用者満足度	90.8%		92.0%
総合型地域スポーツクラブ数		6団体		8団体	
スポーツ少年団の加入率		20.6%		21.6%	

施策2 - (1) 公共スポーツ施設の整備・充実

【主な取組】

- ・「恩田スポーツパーク構想」に基づく計画的な恩田運動公園の整備
- ・公共スポーツ施設におけるバリアの洗い出しと計画的なバリアフリー化の推進
- ・ユニバーサルデザインの視点を踏まえた施設整備
- ・指定管理者による効率的な施設管理・運営・サービスの向上促進とICT等の活用による利便性の向上
- ・感染症対策のためのスポーツ施設利用時のルール・マナーの徹底や設備の抗菌コーティングの実施 **《新規》**

施策2 - (2) 身近なスポーツ環境の整備

【主な取組】

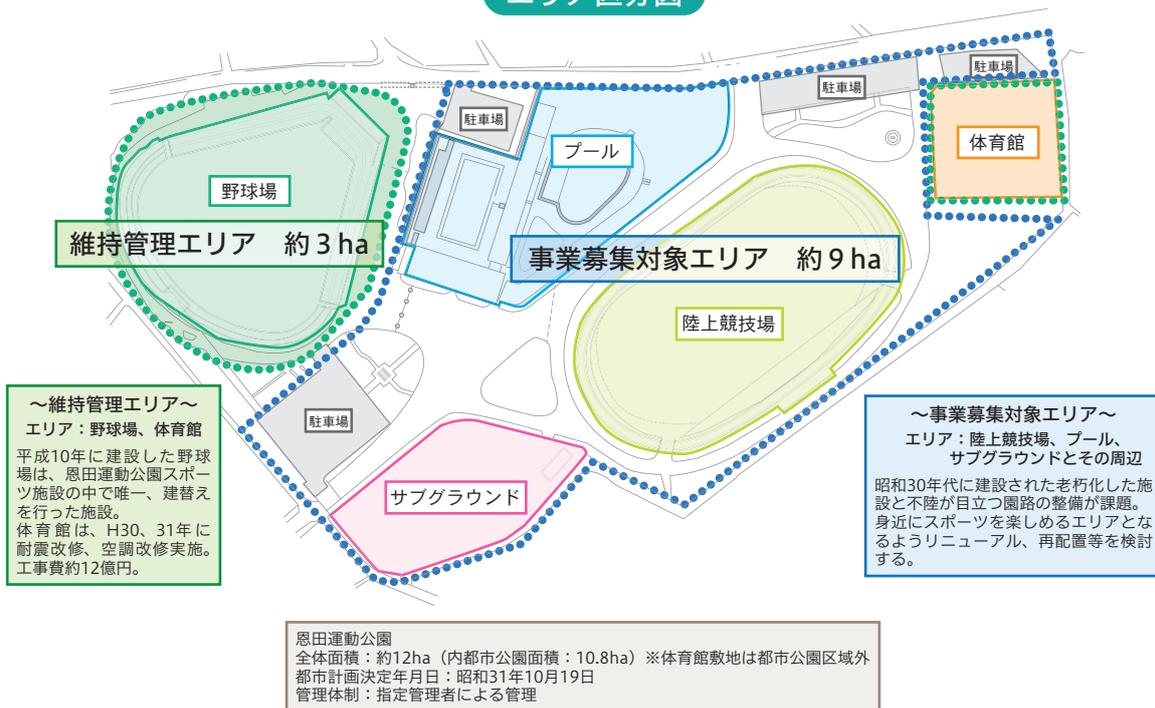
- ・ICTを活用した学校体育施設の開放と民間施設の活用促進 **《拡充》**
- ・公共スポーツ施設に限らず、親子でも利用しやすい身体を動かす環境整備の促進
- ・山口県央連携都市圏域などの広域連携による公共スポーツ施設の相互利用の促進
- ・各地区でスポーツ活動を担う指導者の育成や確保
- ・「総合型地域スポーツクラブ」の設立や活動活性化に向けた支援
- ・スポーツ推進委員の取組促進や研修等を通じた資質向上
- ・スポーツ少年団の活動促進や指導者のスキル向上

恩田スポーツパーク構想の概要

本市の主要なスポーツ施設は、そのほとんどが設置後、相当の年数を経過しており、建設当時は、十分な規模・機能を有していたものの、市民一人ひとりのライフスタイルの変化や施設の老朽化等により、現在では多様な市民ニーズや利用目的への対応が困難な状況となり、施設の陳腐化が課題となっています。

恩田運動公園（昭和38年（1963年）の山口国体に併せて開園し58年が経過。）の改修では、単なる老朽化したスポーツ施設のリニューアルにとどまらず、「健康」をテーマに既存のストックを活用（老朽化施設の健全化）するとともに、新たな魅力としてストリートカルチャー（若者文化）を付加することで、多世代にわたる市民が訪れ、健康な体と心を育て、若者でにぎわう場を創出することとし令和元年（2019年）11月に策定した「恩田スポーツパーク構想」に基づき、整備を進めます。

エリア区分図



基本方針 2

スポーツにより笑顔でつながるまちづくり

スポーツを通じて、人や地域の交流を活発にすることで、笑顔あふれるまちを創るため、次の2つの施策を柱として、各取組を展開していきます。

2つの柱

施策3 スポーツを通じた交流・ふれあいの促進

施策4 魅力あるスポーツ事業の創出

施策3 スポーツを通じた交流・ふれあいの促進

スポーツの持つ多様な力を活用し、スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現のため、地域計画等と連動した世代間交流の促進や市民スポーツ大会等のイベントを実施するとともに、地域資源を活用したスポーツイベントの開催や観光資源を合わせたスポーツツーリズムの推進により、関係・交流人口の増加を目指します。

また、スポーツの楽しさや面白さ、その効果をウェブサイトやSNS、広報紙などの各種媒体を通じて情報発信することにより、既にスポーツに親しんでいる人だけでなく、これまでスポーツに関わってこなかった人への働きかけを行います。さらに、東京2020大会など大規模大会により高まった市民のスポーツに対する関心・意識を東京2020大会の開催理念等を踏まえたうえで、引き続き維持するとともに、すべての人が尊重しあえる社会である「共生社会」への意識向上を図ります。

	項 目	現状値 令和2年度 (2020年度)	目標値 令和8年度 (2026年度)
活動指標	市民スポーツ大会・地域資源を活用した大規模スポーツイベント参加者数	2,104人	3,000人
	スポーツ合宿や大規模大会誘致数	24件	30件
	宇部市スポーツコミッション情報発信数	364件	700件
	アーバンスポーツ・ストリートカルチャーイベント件数	—	10件

施策3 - (1) スポーツによる地域づくりの推進

【主な取組】

- ・ 地域計画等と連動しながら、スポーツを通じた地域住民の性別・障がいの有無・多世代交流の促進が図られる環境の整備
- ・ 市民スポーツ大会等の開催による地区間交流の促進
- ・ 年齢や障がいの有無に関わらず、地域でスポーツに親しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」の設立や活動活性化に向けた支援【再掲】

施策3-(2) 地域資源を活用した交流の促進

【主な取組】

- ・ 北部地域の自然環境を生かした「くすのきカントリーマラソン」などのスポーツイベントの開催
- ・ 本市の観光資源を活用したスポーツ・健康づくりの促進
- ・ 地域を活性化するため、スポーツツーリズムやスポーツを取り入れたユニバーサルツーリズムの創出
- ・ 本市のスポーツ施設等を活用した大学等のスポーツ合宿や大規模大会の誘致

施策3-(3) スポーツ情報の充実

【主な取組】

- ・ 宇部市スポーツコミッションウェブサイトやSNSを通じた情報発信
- ・ 新たな競技情報や最新のトレンド、ニーズの把握
- ・ 継続的な運動習慣の定着を促進する取組の情報提供
- ・ スポーツイベントのアーカイブの提供 **《新規》**
- ・ ICTを活用したスポーツの魅力向上等の取組支援

施策3-(4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等大規模大会によるレガシーの継承・発展

【主な取組】

- ・ オリンピアン・パラリンピアンとの事後交流 **《新規》**
- ・ 東京2020大会で注目を浴びたアーバンスポーツなどの体験イベントの開催 **《新規》**
- ・ 共生社会の意識向上を図るためボッチャ大会の開催などによるパラスポーツの普及・啓発 **《拡充》**



くすのきカントリーマラソン（2019年3月）



市民スポーツ大会「バレーボール大会」

施策4 魅力あるスポーツ事業の創出

トップアスリートやプロスポーツチームには、スポーツを通じた様々な効果が期待できます。それぞれが活躍することにより地域情報が発信され、その応援により地域住民の連帯感や新たなコミュニティの創出、シビックプライドの醸成などの社会的な効果があります。また、プロスポーツチームのホームタウンでは、試合会場の整備や関連する交通施設などのインフラの整備が必要であり、そのチームのゲームが開催されれば多くの観戦者が来場することから、交流人口の増加や経済的な効果にもつながります。さらには、本市の観光資源と合わせた観戦ツアーなどのスポーツツーリズムも創り出すことができることから、その可能性は幅が広く大きなものと考えられます。

そこで、本市にゆかりのあるトップアスリートやプロスポーツチームと連携したまちづくりを進めるため、各取組を展開します。

	項 目	現状値	令和2年度 (2020年度)	目標値	令和8年度 (2026年度)
活動指標	本市にゆかりのあるトップアスリートやプロスポーツチームの活動や試合日程の情報提供数		4件		48件
	ホームタウンチームの地域イベントへの参加件数		8件		24件
	トップアスリートやプロスポーツチームと連携した取組数		14件		30件



子ども夢教室（ウルフ・アロン選手）



子ども夢教室（奥原希望選手）



子ども夢教室（宝来麻紀子さん）

施策4-(1) スポーツを通じたシビックプライドの醸成

【主な取組】

- ・本市にゆかりのあるトップアスリートやプロスポーツチームの活動や試合日程の情報提供及びその活躍の周知 《新規》
- ・ホームタウンチームの地域イベントへの参加による交流促進 《新規》
- ・本市のスポーツ振興や健康増進施策に繋がる、地域に密着した運動教室や健康イベントなどへのホームタウンチームの活動支援 《新規》
- ・トップアスリートを招聘した子ども夢教室の開催
- ・観戦ツアーやホームタウンチームのサンクスデーなどの観戦、応援する機会の提供 《新規》

施策4-(2) プロ・トップスポーツチームと連携したまちづくりの推進

【主な取組】

- ・共生社会の実現のためのホームタウンチームと連携した観戦モニターツアーの実施 《新規》
- ・市外からの誘客につなげるため、ホームタウンチームなどのスポーツイベントと観光資源や食文化などと合わせたツアーメニューの創出 《新規》
- ・本市にゆかりのあるトップアスリートやプロスポーツチームの選手を招聘した子ども夢教室の開催
- ・プロ・トップスポーツチームの選手による本市の魅力発信 《新規》



レノファ山口



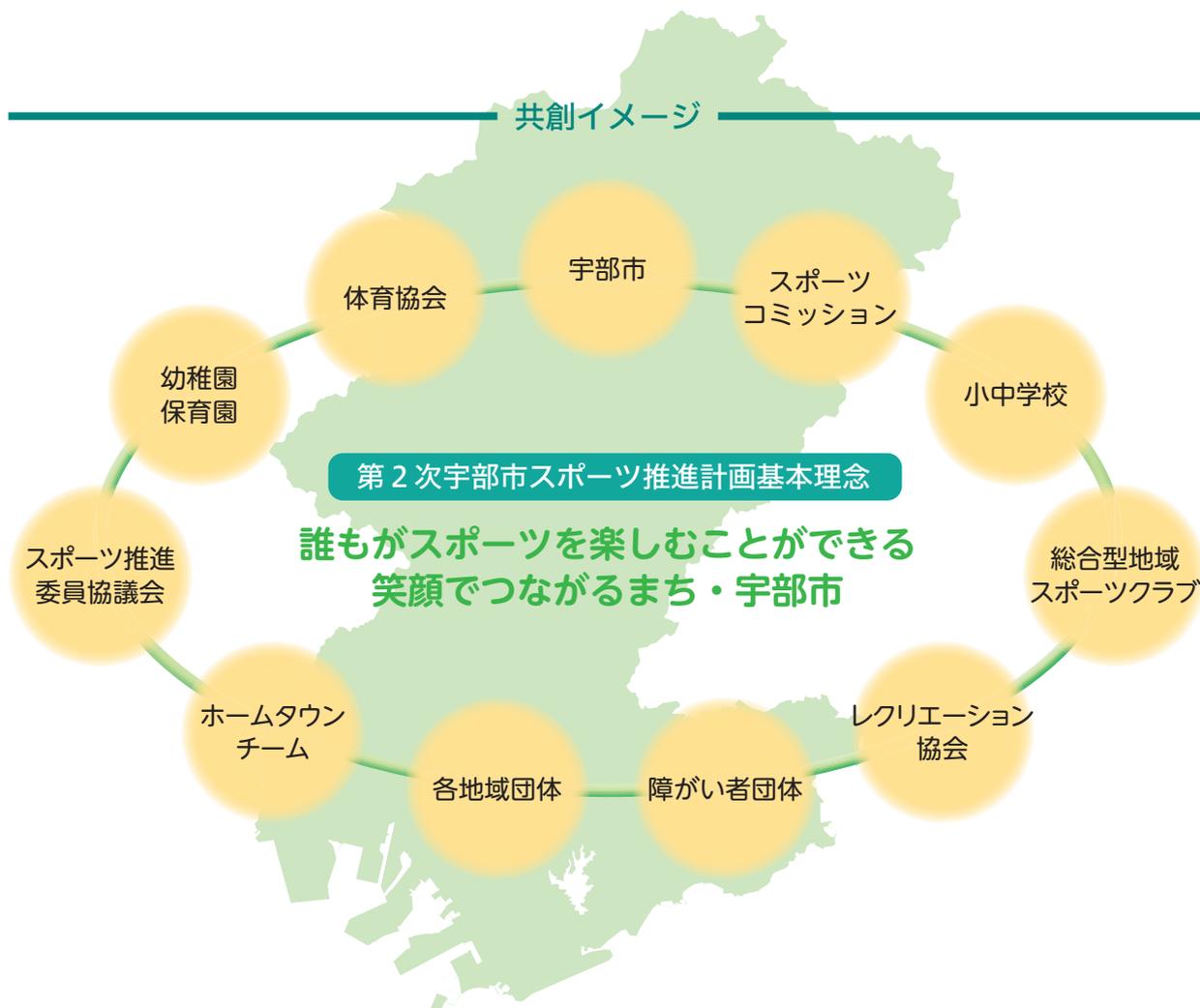
ミネルバ宇部



山口ペイトリオッツ



本計画に掲げた基本理念の実現や取組目標の達成、取組事項の効率的・効果的な推進を図るため、各個別目標の設定段階からスポーツに取り組む各種団体との『共創』により、地域の課題を共有するとともに、様々な意見を出し合いながらその対策を考え、課題解決に取り組んでいきます。



【公益財団法人 宇部市体育協会】

スポーツ・レクリエーションの振興、健康の保持増進に関する事業を推進することにより、心身ともに健康な市民生活の形成と地域社会の発展に寄与することを目的としています。主な活動としては、市民駅伝大会や各種自主事業によるスポーツ振興、各加盟団体の事業協力及び指定管理者として公共スポーツ施設の管理運営を行っています。

【一般社団法人 宇部市スポーツコミッション】

年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、関心、目的等に応じてスポーツに参画することができる機会を創出し、市民の健康づくり・体力づくりを推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の増加と地域活性化を推進し、「スポーツを楽しむ元気なひとの元気なまち・宇部市」の実現と「健康長寿のまちづくり」に寄与することを目的としています。主な活動としては、市民が気軽にスポーツに親しめる参加型イベントやプロスポーツ等を活用した人や地域の交流、スポーツによる共生社会の実現に向けた取組などを実施しています。

第2次宇部市スポーツ推進計画

発行日 令和4年(2022年)3月

発行 宇部市 観光・シティプロモーション推進部
文化・スポーツ振興課
〒755-8601 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号
TEL (0836)34-8614 FAX (0836)22-6083

